

いわて平泉米だより

令和4年8月号

出穂後の水管理を徹底し、白未熟粒・ 胴割粒の発生を抑えましょう。

出穂後の水管理は、根の活力を維持させることで稲の登熟度合いを高める上で**大きな影響**を与えます。

・出穂後の水管理は前半（約20日）、後半で以下のよう
に異なります。

・前半→3～4日入水、1～2日落水

・後半→2～3日入水、3～4日落水

入水と落水を繰り返して、常に田面が湿っているように
にしましょう。

・穂ぞろい後に高温が続く場合（日中30℃以上、夜間23℃以上）には水の入れ替えや水のかけ流しを行いま
しょう。地温の低下と根の活力維持により、登熟不良
や品質低下を防ぎます。

～落水は、圃場の性質を踏まえて～

排水が悪く地下水位の高い圃場 … 出穂後30～35日後
排水の良い圃場 …………… 出穂後35～40日後
上記を目安とした上で、もみが黄色になったタイミン
グで落水を開始しましょう。

早すぎる落水は根の活性低下などを招き、**白未熟粒**
や胴割粒の増加につながりますので、細やかな水管理
に努めましょう。

